

令和4年6月16日(木) 博物館地域説明会(柚野公民館)

質問者①

質問：大鹿窪遺跡で発掘された物が今芝川にあるとのことですが、それも全部新しくできる博物館に移動させるのですか？

回答：はい。土器は脆いものですので、収蔵環境はきちんとしないとはいけません。

質問：以前、大鹿窪遺跡で出てきたものはどこにあるんですかと聞かれ、今現在は芝川の埋蔵文化財センターにありますよ、レプリカも何もないですよということで、それだけで帰ってしまう、ということがありました。大鹿窪遺跡がこれからどういう発展をするか分からない中で、出土品をすべて新しくできる博物館に持っていくとすると、レプリカを作って置いておく訳にはいかないかもしれないですが、その点はどう考えていますか。

回答：大鹿窪遺跡は今第一期の整備ということで、国の指定を受けている地区のうちA地区の整備をしています。実は以前ガイダンス施設として土器等を展示できる施設の建設を検討したのですが、国の許可が下りませんでした。ただ、もう少し範囲を広げて整備しようということが私たちの構想の中にあり、そちらの中にはガイダンス施設として展示できる施設を検討しています。土器等は出しっぱなしにすると紫外線にやられて傷んでしまうので、定期的に入れ替えをできるようにしたいと思っています。

質問：今、大鹿窪遺跡でそれをやろうと考えているということで良いですか？

回答：はい、そういうことです。まだ土地も買っていない状況でやるのかどうかははっきり言えませんが、博物館の整備同様、今後検討していきたいと考えています。

質問者②

質問：展示公開のスペースが、常設展示、企画展示室、展示準備室400とありますが、スペースとしては少ないのかな、というイメージがあります。その中に二億という展示を入れるとなると、人数的なことを考え、おそらく展示がしっかりしたものになると、60人くらいしか入れない、それでもちょっと手一杯かな、と思います。そのあたりは具体的にどうでしょうか。

回答：ご指摘の通り、考えている建物は、本来必要とされている面積からするとかなり絞り込んだものです。展示についても十分なスペースが確保できない中で、できるだけやっていきたいと考えています。2億という金額の中には、展示ケース等も含まれています。展示の設計そのものも、学芸員を中心にサポートを受けながらやっていきます。入館者数については、沢山来てくれてもそれはそれで良いのですが、最初の段階ではそれほど大人数はイメージしていません。あくまでも皆さんに実物を見てもらって自分達で研究していく、そういったことに重点を置いています。もしもお客さんが沢

山来てくれるような状況になれば、それはその時増設するなり、考えていくようになるのかと。とりあえず現状は最低限整備するということで考えています。

質問：ありがとうございます。

質問者③

質問：この事業を進めるにあたって、補助金は見込めるのですか。

回答：今現在では、整備そのものについての補助金はありません。ただ、様々な制度がありますので、その中で活用できるものを今調べているところです。最近、このような地域密着型の博物館が国の補助金の対象となるかもしれない制度が検討され始めています。具体的にどのような運営をしていくのかまだ決まっていないため、今後検討していきます。

質問：私の周りでは、博物館に20億前後使う、それも補助金を使わずに、ということに対して、相当厳しい話ではないかという意見が出ています。率直な感想としてはお金がかかりすぎだという感じはします。

回答：率直なご意見ありがとうございます。私どもも、できるだけ費用のかからない方法を考えております。ただ、文化財というものは一度失われれば二度と元に戻せないのが最低限守っていけるようにしなければなりません。そのために必要なお金です。ほかの自治体はすでにやっていて、当市はそれに乗り遅れているので、やはりやっていかなければなりません。

質問者④

質問：先ほどの質問に関連して、補助金が下りないということですが、信仰の対象だったり、巻狩りや縄文など、あるものに絞った場合は補助金の対象となるという考え方でしようか。

回答：今調べている中では可能性はゼロではありません。ただ、該当するかどうかは詳しく運営方法を検討する中ではっきりしてくると思います。

質問：候補地を選ぶ際にも、補助金が下りるような候補地がふさわしいといった選定になってくるのでしょうか。

質問：候補地については、富士宮市が所有し、一定以上の面積があり、なおかつ使う予定がない場所を3か所ピックアップしていますが、もし他に良い場所があれば、そちらを検討することもやぶさかではありません。まだはっきり決まったわけではなく、これからますます検討を重ねていかなければなりません。

回答：やっぱり歴史文化ですから、なぜそこでその歴史文化が起こったのか、建てる場所にそれなりのストーリーがあった方が良いというのが私の意見です。ありがとうございました。

質問者⑤

質問：私は40年ほど前、①番の候補地で三年間勤めていましたが、すばらしく景色が良いので富士山が見える建物を作りましたら、日の光が入らず日中寒くて困りました。もし一番の候補地を考えるようでしたら、昔の建物の図面を持ってきてよくチェックしないと暖房費がとんでもなくかかってしまいます。また、朝霧高原の下なので霧が多く、ちょっと使わないとカビだらけ、湿度が高いです。白糸地域に住んでいる方の意見を良く聞いたほうが良いと思います。

回答：ありがとうございます。大変参考になりました。

回答：いろいろ質問いただき、基本設計に入る際に参考にしたいと思います。財源に関して心配する方が多いですが、財源20億規模ということになっています。

他市でも博物館は維持しています。というのは、必要だから維持しており、子供たちに市の文化や歴史を知ってもらい、何十年か経っても地域を愛し、地域のことを知っていて、富士宮はこんないいところがあるんだよとみんなが言えるようになれば、観光地としてもグレードアップします。

それらに対しての投資とも考えていますので、現在いろいろ厳しいという話が出ていますが、博物館を建てるにあたり企画部門、財政部門ともしっかり打ち合わせをして、どのように維持していくかというところまで打ち合わせをしておりますので、ご理解いただければと思います。